重箱船 出戸 \mathcal{O} 下 では 乗り 出 しガたニ んよ一釣り久太郎兄

大東風 夜 の 九村 つ中 (おおだし) に吹きゃされ 乱 馳せ上がっ 玉 た んよ

隣 図 は い に か 魂だか |泣えだ. た の は

匹 家で 西 ん目 んなガニでも(八文だ日までヤッコラサとなで売れば五文のガニュ 文だかった。

命からがらおまり高えるまり高え け よ らりだ負 捕っ たょけ たガニだんよ てく れ久太 郎

出戸の久太郎兄

西目里謡〕

1/2

ガ 一 釣 重箱船 の 下 ごで り は 夕 太 す 郎 乗り出したんよ

吹き 夜 の 東 風 やさ つ (おおだし) れて 馳せ上がっ 村中 乱 たん 玉

幽霊だか 魂だか

今頃来たのは

隣惣七の
い

コ泣えだ

出戸の久太郎兄

西目里謡)

家で売れば 西目までヤッコラサと 五文のガニコを

かついで

どんなガニでも 八文だんよ

どうして負けらりょか 久 太 郎 兄 あまり高えよだ 負けてくれ

命からがら

End

捕った
ガニだんよ